

FeetFirst[®]

UPDATE

Building a strong foundation for
herd performance

● ABOUT | ● FEET FIRST TEAM | ● TOOLS |



問題の多い豚の追い込み作業の現状

ストレスの少ない追い込み技術を行う事で、問題なく豚を移動させる事が出来る。

豚を移動させる事は、時間が掛かり、ストレスがたまり、また危険も伴う作業です。しかし、必ずしもそうである必要はありません。

ナンシー・リッドスター氏は、その事を誰よりもよく知っています。ナンシー氏と夫のドン氏は、最適な豚の追い込み技術を指導する会社を20年間経営しています。それ以前は、カナダのサスカチュワン州で20年間養豚業を営んできました。「とても多くの方が誤った方法で豚を移動させようとしています。そして豚を移動させる度に頭を抱え、その誤った方法によって、農場で怪我をする事があります。」とナンシー氏は述べています。



ナンシー・リッドスター
DHLファーム社、共同経営者

自分たちの会社であるDNLファーム社を通じて、ナンシー氏とドン氏はストレスの少ない豚の追い込み技術を指導しています。彼女達は、豚は安全と感じ、自分たちのペースで歩ける状況の時に、最も動くことを主張しています。

従来の問題点

ナンシー氏が教える方法の多くは、長年に亘り正しいと考えられてきた方法とは異なっています。特に“フライトゾーン”と“バランスポイント”の点がそうでしょう。動物にはそれぞれ個体空間であるフライトゾーンがあり、人をそのゾーンに入れないように動きます。特に豚には肩にバランスポイントと呼ばれるものがあり、人が背後からそのポイントに近づくと、前方に移動し、人が豚の正面にいと、止まるもしくは後退します。言い換えれば、私達が豚にどの様にして近づこうとも、豚は人から離れるように動きます。

ナンシー氏によると、従来のモデルにはいくつかの問題があります。従来のモデルはそもそも、湾曲した追い込みゲート内を1頭の牛が進む際に用いられていたものを、時と共に、同じ様な湾曲したゲート内を1頭の豚が進むためのものとして適用

しました。しかし、通常豚を動かす際には、方向転換を邪魔する障害物がなく、人が死角に入ることもあります。従来のモデルでは、豚を特定の方向へ誘導するために、多くの豚を追い込んだり、触れたり、音を立てたりといったプレッシャーを人が加えることが、非効率的である事について何一つ述べられていません。

「豚を左に移動させたい時は、右側にパドルや板を置く事で、それらから離れて移動するだろうと思うでしょう。」とナンシー氏は述べています。「しかし、実際、それは豚の注意を引いてしまいます。それと同じ事が音にも当てはまります。もし豚群の後ろで音を立てると、豚の注意は後方に向くでしょう。」

豚にかかるストレスが少ない技術で、理想的に豚を移動させる

ナンシー氏は、農場で豚群をスムーズに移動させるための、豚にかかるストレスの少ない追い込み技術を指導しています。スムーズに移動するという事は、豚が落ち着いていて、周りの豚の動きに合わせて動く事を意味しています。それに対してバンチングは、豚が密集し、受身になり、動く事を嫌がる状態を言います。

「バンチングを最小限に抑えるために、人は豚が移動する際、恐怖や物理的な力を与えてはいけません。」

豚が落ち着き、注意が前方に向いていて、お互いがぶつからない十分なスペースがあり、豚の前進を妨げるものが何も無い状態がスムーズに動くために理想的です。また、前方の豚が動きを先導すると共に、後方の豚が群を前進させます。後ろから付いていく作業者は、豚にスペースを与える事で、後方の豚が混み合い、混乱するのを防ぐ必要があります(図1)。



図1: 正しい豚の流れを作り維持するために、作業者はパドルを静かに扱わなければなりません。それにより騒音の発生と、豚の注意が逸れる事を最小限に抑える事が出来ます(上写真)。比較として下は、激しくパドルを動かした時の写真です。

豚が安全だと感じるためには、豚は周囲の環境を認知し、移動のための時間とスペースを確保し、プレッシャーから解放され、他の豚と身を寄せる必要があります。豚が落ち着きの無い時の兆候として、頭と耳を上にあげる事や、前に進む意欲がない事が挙げられます。「作業者に最もよくみられる間違いは、豚が恐怖と注意の合図を出している頭ではなく、臀部を観察してしまう事です。」とナンシー氏は述べています。

豚が怖がっている時に、作業者がすべきポイントは以下の通りです。

- ・ 立ち止まり、豚を前方に進めさせる
- ・ 一歩下がる
- ・ 優しい身振りを行う

- ・ 動くのを止めたり、音を立てるのを止める
- ・ 豚に作業者の周囲を回らせる

ナンシー氏は、豚周囲のフライトゾーンの代わりに、最適な豚の流れに必要なスペースを与えるために、作業者にスペースを球状に考えるように指導しています(図2)。状況次第ですが、豚は作業者周囲を円形に進む傾向にあります。豚をペン外へ移動させようとする時に、例えば、作業者がゲート付近に立っていると作業者の周囲が豚をゲートの方へ移動させる漏斗のような役割を担うでしょう。



図2: 作業者は、自分たちの周囲にある球状のスペースを有効活用する事で、豚群の流れを作ることができます。

「もし、作業者がペンの方へ戻ってしまうと、豚はゲート付近に密集し止まってしまうでしょう、なぜなら一度に数頭しか出られないからです。」とナンシー氏は述べています。「ですので、豚を止めて、怖がらせてしまうと、豚はおそらくゲート内に群がるか、ペン内に戻ってきてしまうでしょう。」

実際の農場での結果が価値を示す

ナンシー氏はストレスの少ない豚の追込みを行うためには、トレーニングする事から始めるべきですとアドバイスしています。

「作業者は、求めるべきものは何か、取るべき最適な行動は何かに関して意識し、また恐怖を与える事と、豚を扱う際に起こる問題の関係性についても認知しておく必要があります。」

ナンシー氏

「作業者は、求めるべきものは何か、取るべき最適な行動は何かに関して意識しておく必要があります。」とナンシー氏は述べています。「また、作業者は、恐怖を与える事と、豚を扱う際に起こる問題の関係性に関して認知しておく必要があります。」

多くの場合、改善効果はすぐに表れます。ナンシー氏は、20年前に夫と経営していた農場だけでなく、DNLファーム社が多くの農場で取り組んできた中でそれを見てきました。「私たちは、豚を適切に移動するために、多くの事は必要無い事に気づきました。そして、直ぐに結果が出始めました。」

かつて豚を移動させるために、4人必要であったのが、1~2人でも行えるようになった事例もありました。「これにより、多くの時間と人員を節約する事ができました。」とナンシー氏は述べています。「しかし、最も大きい効果は、豚と一緒に仕事をし、技術を磨いていく事が楽しくなったという事です。」

ジンプロ社は、跛行の予防と管理を通じて動物の生産性を向上させる事を目的とした、Feet Firstプログラムで豚の健康を向上させる事に注力しています。栄養素も跛行予防に重要な役割を果たします。ジンプロ・ミネラルの中でもアベイラ SOWは、特に足の健康と繁殖成績を最大限に高めるのに役立ちます。しかし、大きな効

果を得るには総合的なアプローチが必要です。ストレスの少ない追い込みは跛行の発生を低減し、動物の健康と生産性を向上させる一つの要素です

さらに詳しい情報はジンプロ・ジャパンにお問い合わせください。

Feet First[®] Update is a publication produced by Zinpro Corporation and the Feet First Team, an international collaboration of researchers, veterinarians and nutritionists. The Feet First program focuses on swine welfare and helping improve the efficiency of pork production through the identification and prevention of lameness. Articles may be reprinted with prior permission.

Performance Minerals[®] and Feet First[®], Availa[®] Sow and Availa[®] Zn are trademarks of Zinpro Corporation. ©2013 Zinpro Corp. All rights reserved.

10400 Viking Drive, Suite 240, Eden Prairie, MN 55344, USA · www.zinpro.com · +1 952-983-4000

